

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-85	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	公共 002-901	公共		

1. 編修の基本方針

(1) 高校生が主体的に現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を展開できる教科書

- 目次や「本書の使い方」、第1部・第2部の冒頭の「学習内容の展開」で、各部の内容と紙面構成を丁寧に説明した。
- 各項(本文ページ)は、冒頭に学習課題を提示することで問題意識をもって学習を進められるようにし、項末には1単位時間の学習のまとめ「チェック」と「トライ」で主体的な学習活動を提示した。また、スモールステップの具体的な課題を通して思考を深める学習活動のコーナー「アクティブ公民」を適所に掲載した。
- 第1部「公共のとびら」では、現代の諸課題を考察し、選択・判断する際に用いることのできる〈視点〉(概念や考え方)を載せて活用できるようにした。
- 第2部は13のテーマで構成し、それぞれの冒頭に見開きで「追究しよう」を設けた。「追究しよう」では、各テーマに関する具体的な追究課題を設定し、紙面は「つかむ」→「考える」→「話しあう」という学習のプロセスにそって構成した。
- 本文に関連する話題を取り上げた「トピック」、将来の暮らしに役立つ情報を取り上げた「ライフデザイン」、倫理的な観点から物事を選択・判断する際の基本的な考え方について具体的な課題をとおして学習することができる「活用してみよう」、主権者として必要な知識と参加型活動について取り上げた「社会参画のメソッド」など、多様な特設コーナーや特設ページを掲載し、深い学びの実現に向けて学習に広がりをもたせられるようにした。
- 第3部は、第1部・第2部の学習をふまえ、現代の諸課題を探究する活動ができるよう、「つかむ」→「考える」→「まとめる」→「ふり返る」という探究プロセスにそって解説した。

(2) 公民の技能をみがき、資料を活用して考察する力を培う教科書

- 本文に関連した資料(図表やグラフなど)を豊富に掲載し、図番号を付して資料を活用しながら本文を読み進めることができるようにした。
- 各項(本文ページ)の図版などに、資料を読み取る際のポイントを適宜「？」で示し、考察の手がかりとなるようにした。
- 第1部では、思考実験(「共有地の悲劇」、「囚人のジレンマ」など)を取り上げ、概念的な枠組みを用いて考察できるようにした。
- 第2部の「追究しよう」では、「つかむ」や「考える」という探究学習のプロセスのなかで、資料を活用して考察できるようにした。
- 「ジェンダー平等と性の多様性」、「住民参加でつくる地方自治」、「民事トラブルにあったら」、「国際金融のトリレンマ」など、本文に関連する話題について資料を活用しながら考察できる学習内容を「トピック」として掲載した。
- 第3部「持続可能な社会づくりに参画するために」では、「資料を批判的に読む」ことや「統計・図表の読み方・使い方」を提示し、探究活動を進める際に資料を効果的に活用できるようにした。

(3) 現代の諸課題とつなげる教科書

- 第2部の「追究しよう」では、「日本に国民投票制度を導入すべきか?」、「AI時代の職業生活をどのように考えればよいか?」、「日本は核兵器禁止条約に参加すべきか?」、「世界経済の分断化にどのように向きあうか?」など、現実社会におけるさまざまな課題を取り上げた。
- 「本文ページ」の導入では、「オンラインゲームに気をつけて」、「ダイナミックプライシングとは何か?」、「労働トラブルにあったらどうする?」など、高校生にとって身近な事例を取り上げた。
- 「公共」の学習が社会への参画につながることを意識できるよう、「若者議会で報告する高校生」や「(国政選挙で)投票する高校生」など、高校生が社会に参画している場面を積極的に取り上げた。

- ・主権者として必要な知識と参加型活動について取り上げた「社会参画のメソッド」では、「模擬請願」、「模擬選挙」、「模擬立法」、「刑事模擬裁判」を掲載した。
- ・第3部では、「持続可能な社会の形成に関連した探究課題の例」でさまざまな現代の諸課題を提示し、自分自身の探究課題を決める際に活用できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 公共のとびら	・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。（第1号） ・青年期の特徴やキャリア開発について丁寧に扱い、個人の価値を尊重しながらその能力を伸ばし、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した。（第2号） ・自分たちの考えと伝統・文化とのかかわりや、日本の思想を学ぶことを通して、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した。（第5号） ・功利主義と義務論を参考に生命倫理と環境倫理について考える「活用してみよう」ページを設け、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。（第4号） ・学習しておくべき知識事項を特設ページの「ステップアップ倫理」と「ステップアップ政経」（「現代の世界と宗教」、「先哲の思想に学ぶ」、「近代政治の原理と民主主義」、「日本国憲法と基本的人権」）で取り上げ、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した。（第1号） ・人権の歴史的展開や人権保障の世界的な広がりについて取り上げるとともに、特設ページの「トピック」（「ジェンダー平等と性の多様性」）を設け、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。（第3号）	全体 10～13ページ 18～19、34～35 ページ 26～29 ページ 20～21、30～35、39、48～53 ページ 44～45、54～55 ページ
第2部第1章 民主政治と私たち	・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。（第1号） ・冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。（第1号・第2号） ・地域の将来について提案する高校生など、同世代の若者の姿を積極的に取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。（第3号） ・日本の地方自治について扱うなかで、地域における住民の政治参加について取り上げたり、「模擬請願」をとおして地域の課題について考えることができるようにしたりするなど、郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるようにした。（第5号） ・日本の政治機構や政治参加、政党政治、世論について丁寧に取り上げたり、「模擬選挙」をとおして政治参加の実践的な力が身につくようにしたりするなど、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。（第3号）	全体 58～59 ページ 60～62、66～67 ページ 62～67 ページ 68～83ページ

第2部第2章 法の働きと私たち	・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。（第1号） ・三つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。（第1号・第2号） ・消費生活に関する情報の評価と選択を主体的に行う消費者市民社会の形成が求められていることを取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。（第3号） ・消費者が、環境に配慮しながら消費行動を行うことが求められるエシカル消費を取り上げ、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。（第4号） ・裁判員制度や検察審査会制度、国民審査など、市民が司法に参加するための制度や方法を取り上げることで、司法をとおして、正義と責任を重んじながら、主体的に社会の形成に参画し、公共の精神に基づき、社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにした。（第3号）	全体 86～87、94～95、106～107ページ 102～103ページ 103ページ 109、111～115ページ
第2部第3章 経済社会で生きる私たち	・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。（第1号） ・三つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。（第1号・第2号） ・本文ページの導入や「アクティブ公民」コーナー、特設ページ「やさしい経済セミナー」で経済に関する基礎的な概念を取り上げるなど、経済分野で必須の知識が確実に定着するよう工夫し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにした。（第1号） ・財政と社会保障に関して「アクティブ公民」コーナーで、「財政健全化のために消費税を引き上げるべきか？」や、「持続可能な公的年金制度を考えよう」という課題について考えることをとおして、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。（第3号）	全体 116～117、132～133、140～141ページ 118～128ページ 145、149ページ
第2部第4章 私たちの職業生活	・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。（第1号） ・二つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。（第1号・第2号） ・職業を通じた自己実現や社会参画について考えることができるようにし、個人の価値を尊重してその価値を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるよう配慮した。（第2号） ・若者の雇用や労働環境など、職業生活にかかわる今日的な課題を取り上げ、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるよう配慮した。（第2号） ・これからのキャリア形成に関連し、自律的なキャリア形成が求められていることを取り上げ、自主および自律の精神が養えるよう配慮した。（第2号）	全体 152～153、158～159ページ 154～157ページ 152～153、162～163ページ 157ページ

第2部第5章 国際社会のなかで 生きる私たち	・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。（第1号） ・四つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」によって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。（第1号・第2号） ・国際平和への課題をとらえることをとおして国際社会の役割について考えることができるようにし、平和と安全、正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。（第3号） ・紛争や難民など、今日の国際社会が抱える課題や、国際社会において日本の果たすべき課題について取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与することができるようにした。（第5号） ・特設ページ「トピック」で 国境をこえて広がる NGO の活動を学ぶことをとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。（第3号） ・特設ページ「ステップアップ政経」や「トピック」で地球環境問題や資源・エネルギー問題、持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、今日の国際社会が共通に抱える課題について考えることができるようにした。（第5号）	全体 164～165、172～173、180～181、188～189ページ 172～173、180～187ページ 180～187ページ 186ページ 202～205ページ
第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	・公共の精神をもった自立した主体になることをめざし、解決に向けて取り組みが求められている現代の諸課題を探究することができるよう、探究活動の進め方を丁寧に解説し、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。（第3号） ・ミニレポートの例として気候変動を取り上げ、気候危機の問題をとおして環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。（第4号）	206～217ページ 216ページ
参考資料	・巻末の「参考資料」では、日本国憲法と大日本国帝国憲法について側注欄に用語解説を付して、簡便に活用できるようにし、知識を確実に習得できるようにした。（第1号）	226～234ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・特設コーナーや特設ページを各所に設けるとともに、写真・図表・地図を豊富に掲載することで、生徒が意欲的に楽しく学べる教科書をめざした。
- ・ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習を進められるよう留意した。
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-85	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	公共 002-901	公共		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容の充実

- ・ 各項（本文ページ）の冒頭に学習課題（問い）を提示し、その問いを常に意識しながら見開きの学習を進められるようにした。
- ・ 各項の項末には、1単位時間の学習のまとめとして、学習のポイントをふり返る「チェック」と、「まとめる」「説明する」などの活動を示した「トライ」を設け、学習者が主体的に学習できるようにした。
- ・ 思考を深める学習活動を「アクティブ公民」として適所に掲載した。また第1部では、複数の思考実験（「トロッコ問題：あなたの意見は？」など）を取り上げ、概念的な枠組みを用いて考察する活動ができるようにした。
- ・ 生徒の実態に応じて柔軟な扱いが可能な、特設コーナーや特設ページを充実させ、深い学びの実現に向けて「公共」の学習に広がりをもてるようにした。本文に関連する話題を取り上げた「トピック」、将来の暮らしに役立つ情報を取り上げた「ライフデザイン」、倫理的な観点から物事を選択・判断する際の基本的な考え方について具体的な課題をとおして学習することができる「活用してみよう」、経済に関する基礎的な概念を対話形式で解説した「やさしい経済セミナー」、主権者として必要な知識と参加型活動について取り上げた「社会参画のメソッド」、「倫理」と「政治・経済」の学習につながる知識事項をまとめた「ステップアップ倫理」と「ステップアップ政経」を掲載している。

(2) 現代の諸課題を追究したり解決したりする活動が展開できるよう工夫した紙面

- ・ 第1部「公共のとびら」では、現代社会のさまざまな問題について考察し、選択・判断するときの手がかりとなる〈視点〉（概念や考え方）を提示して活用できるようにした。
- ・ 第2部「自立した主体として社会に参画する私たち」は、5章・13テーマとし、各テーマは1見開きの「追究しよう」と複数の見開きの本文ページで構成した。「追究しよう」は各テーマに関する具体的な課題を設定して、追究したり解決したりする「探究学習のプロセス」（「つかむ」→「考える」→「話しあう」）にそって学習を進められるようにし、「本文ページ」は各テーマで学習すべき知識事項を掲載した。
- ・ 第3部「持続可能な社会づくりに参画するために」は、第1部・第2部の学習をふまえて現代の諸課題を探究する活動ができるよう、「つかむ」→「考える」→「まとめる」→「ふり返る」という探究プロセスにそって紙面を構成した。

(3) 学習内容と学びやすさを考慮した構成・配列

- ・ 第1部で現代の諸課題を考察し選択・判断する際に活用できる考え方や基本的原理を学び、第2部で現実社会の諸課題について知識を活用しながら追究し、第3部で現代の諸課題の解決方法を考え、論拠をもとに自分の考えを説明・論述することができる構成にした。また、各項（第1部・第2部の本文ページ）は、学校の指導の実態にあわせて無理なく扱えるように、見開き2ページ・全50項目で構成した。
- ・ 第2部では、キャリア教育の充実について「公共」が中核的機能を担うことをふまえ、「私たちの職業生活」という独立した章（第4章）を設け、学習内容と学びやすさを考慮して「政治→法→経済→職業生活→国際社会」の5章構成（13テーマ）とした。
- ・ 巻頭では、「公共」学習のガイダンスとなるように、18歳に達すると生じる重要な権利・義務についてビジュアルに示した「18歳になると」を設けた。
- ・ 学びをさらに広げて深められるよう、すべての本文ページ(50項目)と、そのほかのページに適宜、二次元コードなどからリンクするデジタルコンテンツ(QRコンテンツ)を用意した。

(4) 特別支援教育に関わる適切な配慮

- ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させた。
- ・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図では、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1部 公共のとびら	A-(1) (2) (3)	8～55 ページ	12
第1章 青年期を生きる私たち	A-(1)	10～13 ページ	2
第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方	A-(1)	14～21 ページ	3
第3章 公共的な空間における倫理	A-(2)	22～35 ページ	2
第4章 公共的な空間における基本的原理	A-(3)	36～55 ページ	5
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	B	56～205 ページ	51
第1章 民主政治と私たち テーマ1 民主政治と政治参加	B-ア(イ)(エ)、イ(ア) B-ア(イ)(エ)、イ(ア)	58～85 ページ 58～85 ページ	8
第2章 法の働きと私たち テーマ2 法や規範の意義と役割 テーマ3 市民生活と私法 テーマ4 国民の司法参加	B-ア(ア)(エ)、イ(ア) B-ア(ア)(エ)、イ(ア) B-ア(ア)(エ)、イ(ア) B-ア(ア)(エ)、イ(ア)	86～115 ページ 86～93 ページ 94～105 ページ 106～115 ページ	10
第3章 経済社会で生きる私たち テーマ5 現代の経済と市場 テーマ6 市場経済における金融の働き テーマ7 財政の役割と持続可能な社会保障制度	B-ア(ウ)(エ)、イ(ア) B-ア(ウ)(エ)、イ(ア) B-ア(ウ)(エ)、イ(ア) B-ア(ウ)(エ)、イ(ア)	116～151 ページ 116～131 ページ 132～139 ページ 140～151 ページ	13
第4章 私たちの職業生活 テーマ8 働くことの意義と職業選択 テーマ9 労働者の権利と雇用・労働問題	B-ア(ウ)(エ)、イ(ア) B-ア(ウ)(エ)、イ(ア) B-ア(ウ)(エ)、イ(ア)	152～163 ページ 152～157 ページ 158～163 ページ	6
第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ10 国際社会のルールとしくみ テーマ11 国際社会と平和主義 テーマ12 国際平和への課題 テーマ13 グローバル化する国際経済	B-ア(イ)(ウ)(エ)、イ(ア) B-ア(イ)(エ)、イ(ア) B-ア(イ)(エ)、イ(ア) B-ア(イ)(エ)、イ(ア) B-ア(ウ)(エ)、イ(ア)	164～205 ページ 164～171 ページ 172～179 ページ 180～187 ページ 188～205 ページ	14
第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	C	206～219 ページ	7
		計	70